

総 社 市 教 育 委 員 会 会 議 録

1 開 会 令和6年10月21日 午後 2時00分

2 閉 会 令和6年10月21日 午後 3時00分

3 場 所 総合福祉センター2階 教養研修室

4 出席又は欠席した委員

出席委員

教育長	久 山 延 司
教育長職務代理者	三 宅 眞砂子
委 員	児 島 塊太郎
委 員	三 上 啓 子
委 員	瀬 尾 英 子

5 会議に出席した者

教育部長	江 口 真 弓
教育部参事兼教育総務課長	
	藤 原 直 樹
教育部参事兼部活動地域移行推進室長	
	矢 吹 慎 一
学校教育課長	村 山 俊
こども夢づくり課長	大 西 隆 之
教育総務課主幹	高 谷 直 樹

6 会議録署名委員

久 山 延 司	三 上 啓 子
---------	---------

7 議事の概要 別紙のとおり

【開会 午後2時00分】

◆久山教育長 ただいまから教育委員会を開会いたします。

では、まず、議事録の署名委員についてであります。会議録署名委員は、会議規則第16条の規定により、私のほか出席委員中、三上委員にお願いします。

今日は、議案はありませんので、私からの報告を少しお話させていただきます。運動会のシーズンでして、今、全県的には5月・6月と秋と半々くらいという状況のようですが、本市については3分の1、4分の1くらいが春の5月くらい、それ以外は秋に集中しています。昨日、おとといが多かったのですが、雨が降りまして、昭和五つ星学園が今日行われました。大半のところは日曜日に順延し、昨日4つ、来週、総小、神在幼小、新本幼小の3つが26日の土曜日にあります。それから29日の火曜日が総社西中で、これで全部終わることとなります。中学校の多くは9月上旬くらいにこれまではしてきたのですが、このところの猛暑で、9月上旬ということは、私が総社東中にいた頃は8月25日くらいから練習を開始していたのですが、それもできない状況になってきましたので、中学校も10月に集中してきたという状況であります。コロナ禍の間にいろんな工夫をして、かなり短くしているので早く終わります。江口部長と手分けをしながら、行けるところはできるだけ行こうと思っています。子どもたちは本当に生き生きとよくがんばっています。今、変わってきたなというところがあります。それは、幼稚園で一番顕著に見えます。準備とか、片付け、5歳児が3歳児の世話をし、手を引いて連れて行ったりとか、そういう子どもの主体性、子どもを前面に出すような活動、これは幼稚園では本当に顕著なのですが、小学校も競技の目的を子どもが発表したり、いわゆる競技以外のところで出てきている、それが非常にいいことだと思います。それから先ほども少し話題になっておりましたが、フジコ・ヘミングさんの映画が先週の金曜日から行われています。この封切前の10月11日に、小松監督と、いろいろお話をしました。この方はものすごくいろんなことを手掛けられているようです。フジコさんのこの映画は第2弾だそうです。「フジコ・ヘミングの時間」という映画が10年か20年くらい前、第1弾があって、その続編ではないのだけど、内容的につながっている部分はあるということです。この説明書きにありますように、フジコさんは約1年間、日羽、今の作原に疎開されていました。日美小学校のピアノで練習をされ、13歳・14歳ですから、中学校年齢なのですが、小学校にグランドピアノがあるということで、日美小学校に放課後毎日通って、練習をされていたということです。フジコさんは、途中病気をされて耳が聞こえなくなったりされ、世界的に有名になったのは60歳を過ぎてからなので、それからこのピアノは埃をかぶっていたそうですね。ただそれを廃棄せずに残していたというのが本当に良かったと思います。オーバーホールして、弾ける状態になっています。5月31日に追悼式のような会をして、フジコさんが2年前に昭和小学校の子どもたちを前に弾かれた曲の中から、3曲選んで総社中学校の教諭が弾かれました。そういうことがあって、2年前の撮影でのその場面がたくさん出てくる、その場面だけ、10月11日に監督が来られた時に見せてもらいました。旧日美小学校の跡地も訪ねて行かれていて、その頃の

思い出の話をされたりしています。それから、お母さんと二人で来られており、その時の様子だとか、特に美袋駅は全く変わっていないということで、ものすごく感激されていました。美袋駅でも撮影をされています。監督が来られた時に、要望としてフジコさんはこの昭和という地にすごく愛着を持たれていて、特に美袋駅はすごく感激されて、思いを持たれていたもので、できればゆかりのものとかを置いて、美袋駅にフジコさんのものを残すことはできないだろうかというお話がありました。今、改札の、今は使っていない昔の切符売り場のところへこのチラシの大きいもの、ポスターを貼っています。この説明書きも大きくして一緒に貼っています。これからできれば映画のロードショーが終わったら、映画の中の場面の写真とか、そういうものをもらえないかなと思って、今後の交渉なのですが、小学校の子どもと一緒に写っている写真もありますし、そういうものと一緒に展示出来たらと思っています。それからピアノの問題です。今は昭和五つ星学園のアクティブキャンパス、旧昭和小学校の体育館のステージの奥へ置いた状態です。これももったいないと言うか、これを一般の人でも見えたり、弾いてみたり、調律は一応していますから、観光資源としてファンの方もたくさんおられるから、活用できないかなと考えています。どこへ置いたらいいとか、学校ならご自由にというわけにはいきませんので、その辺も考えているところです。世界的なピアニストとかなり深い関わりがある地なので、それをもう少し生かせたらなと思っています。

◆**児島委員** フランスでは、黒田清輝が住んでいたところの道に、黒田清輝通りという銅板が張ってある。住んだ家、過ごした場所というね。そういうのを学校もそうだけど、許可があるとは思いますが駅に設置したらどうなのか。

◆**久山教育長** いろいろなことを、教育委員会だけではなくて、観光プロジェクト課、生涯学習課と連携しながら行っています。

◆**児島委員** 疎開した場所は分かるのですか。

◆**江口教育部長** フジコさんのお母さんが大月家の方で、当時住んでいた地、おうちはないのですが、親族の方が、ここがフジコさんの家だったよというような印、プレートがあるのはあるのですが。この辺りというのは分かるようにはなっています。

◆**三宅委員** 今、駅ピアノって非常に流行っている。美袋駅にそんなスペースはないですかね。

◆**久山教育長** ちょっと狭いのでないです。それができれば一番いいのですが。昭和公民館の3階に大会議室があって、そこにピアノは普通の縦型のものがあるのですが、そこはどうかと考えています。グランドピアノだからかなり場所を取ります。運ぶのも、あの階段の広さで3階まで運べるか、なかなか難しいと思います。そのピアノは本当に貴重なものなので、これを隠しておくのはもったいないなと。またアイデアがあったら、考えてみてください。

◆**児島委員** ファンも増えますよね。

◆**久山教育長** そうですね。映画化されると、テレビでも取り上げたりしてくださるかなと思うので。私も映画を観に行こうと思っています。それから、昭和五つ星学園の運動会へ今

日行ってきました。五つ星学園の運動会は、今年については、1年生から5年生がいるアクティブキャンパスはアクティブキャンパスで行い、6-9フロンティアキャンパスはフロンティアキャンパスですということで行われました。別々にしました。これは1年目だから、今までに近い形でということをやってみて、来年どうするか、今後どうするかを考えるということでも、今年はそういう形でやっています。来年は全部一斉に幼小中あわせた運動会になるか。幼稚園の子どもが長い時間になりますから、幼稚園から中3まで時間的にも長い。幼稚園の子どもがもつかということもあります。今日は幼稚園の子どもが、6-9フロンティアキャンパスの運動会を見学しました。できるのではないかと思うのですが、これから検討して決めるということです。五つ星学園については、これまでも教育委員会でこういう状況だということをお話してきましたが、現在、幼稚園と1年生から9年生まで全部合わせて224人です。幼稚園が31人、前期課程の1年生から6年生までが101人、7年生から9年生の後期課程が92人です。4月1日はどうだったかというと、幼稚園は27人、1年生から6年生までの小学校が96人、7年生から9年生の中学校が90人で、合計が213人です。それが今224人ということで、11人年度途中で増えています。転入出は年度途中でいくらかはありますが、これだけ転入出がある学校はほかにはないことで、始まってからも増えている状況で、学区外率が50.4%、50%を超えました。これをどう見るかですけど、小学校、中学校というのはもともと学区制がある中で、学区外の子どもの50.4%、半分を超えた状態です。それは、地域の活性化ということもあって、英語特区を始めた時に学区外からも来られるようにということで行いました。それをよしとしてこれからはもっと外から取り込んで増やしていくということと、逆にあまり地域外の割合が多くなると、地域の学校という色が薄くなる、そのあたりをどういうふうに見るのかということも含めて今後の施策を考えたいと思っています。幼稚園は、小学校から五つ星に入りたいから、早めに友達に慣れておくということで行かせますという人もいます。幼稚園も小学校、中学校もですが、人間関係、大きな規模で自分を表現することがなかなか難しいので、小さい規模だったら生きるのではないかというようなこと、もちろん英語特区ですから、英語に関心があるというのは前提ではありますが、そういう理由が多いです。それから、転居をして、例えば兵庫県とか福山市、津山市もありますが、中心部のこの辺りに転居しても、中学校は五つ星学園を選ばれる方もおられます。いろんな面で報道されることも多いので、割と周知されているのだと思います。今現在、7年生が一番多くて35人、8年生が32人、9年生が25人、2年続けて中学校年齢が30人を超えたということで、7年生のところで転入してくる人が一番多いです。今後、どんなPR、進め方をしていくかということを考えているところです。またご意見ありましたらお聞かせいただきたいと思います。

◆**児島委員** 五つ星学園まで、どうやって通っておられるのですか。

◆**久山教育長** ほとんどがJRです。交通の便は非常にいいです。JRで、ほとんど一本で、伯備線で行けますから、交通の便ということもあって、選ばれているのもあるかとも思います。関連してですが、待機児童の問題が一つ、幼小中ともに周辺部、特に川西、池田の減少、

中心部の過密，全部関連があるのですがどういうふうに解消していくかということで，いろいろ考えています。特区という制度で学区を超えて行けるという制度は，もう１０年経ちます。今年の４月から始めたのが，小規模特認校制度，これは神在小，秦小，西小の３小学校とそれぞれの幼稚園，神在幼，秦幼，久代幼，ここの幼稚園に関しては，教育委員会が小規模特認校に指定し，市内だったら他の地区から特別な事情がなくても，希望したら行けますよという制度にしています。この小規模特認校制度と，もう一つは，これも去年大幅に拡大した幼稚園の預かり保育をしてきたわけですが，小規模特認校を多くの人が希望したわけではありません。預かり保育もかなりの支援員とかを投入して，人を増やして始めました。しかしながら，預かり保育そのものは利用している方は増えてましたが，それはもともとその幼稚園に行っている子どもが預かり保育も利用することで増えただけで，預かり保育そのものは増えたけど，幼稚園の利用者は全体的にはあまり増えていないという状況です。今年は新しい制度を，待機児童の問題だとか，児童生徒数の偏りだとか，それを解消するための新しい制度を作っていくということではなくて，今申し上げた特区，小規模特認校，預かり保育，これを充実させてPR もしっかりしていくべきではないかなと考えています。これについて今日はじっくりご意見をいただきたいと思います。大きな２つの問題です。待機児童と児童生徒数の偏り，いろいろ手を打ってきたけど，十分な成果が数字では表れていないというのが現状です。よろしくお願いします。私からは以上です。

◆**児島委員** 総社市だけではなくて，同じような問題を抱えている市町村ってあると思うのです。そういう場所で，どういう取り組みをしているか，うまくいっているところがないかどうか，一度調べて，例えば見学に行くとか，情報をもらってそれを共有していくとか，そういうのがあるといいなと思うのですけど。ただし，総社市は結構いいように走っているからね。

◆**久山教育長** 全国教育長会とかもあったりして，教育長と情報交換をする場というのは県内でもあるのですが，今，全国教育長会で全国から教育長が集まって，何を話しているかというと，いかに統合を進めていくか，それが大半で一番大きなテーマです。全国的に人口が激減していて，特に山間部，もう統合するしか手がないということで，小学校・中学校の統合，義務教育学校化というのは急激に進んでいます。前回，県内の予定をお知らせしたと思いますが，県内でもそのような状況です。統合しないで，あの手この手を考えるのは，総社市くらいなのではないかと思います。将来的には，例えば昭和五つ星学園の場合も，維新小・維新幼を残した状態でそれぞれのところに人を呼べるような制度として，英語特区を決めたわけですが，それでも地元の子どもは激減していますから，地元の方もこれは子どもの教育にとってマイナスなのではないかと，切磋琢磨できる環境じゃないといけないということで，地域の方，PTA にアンケートを取ったら，７割８割の方が何らかの統合をすべきという意見でした。それからこちらが動いたということですので，西部・池田地区についても，こちらとしてはありとあらゆる手を尽くして，そこで人を増やすということを今やっています。議会でも考えないといけないのではないかなというようなご意見もあります。

◆**児島委員** 統廃合すれば過疎化は急増しますよね。

◆**久山教育長** 地域のシンボルですから進みます。

◆**児島委員** 高梁市なんか、気の毒ですよ。

◆**久山教育長** 今、大規模な統合を進めていこうとしているのは、吉備中央町も来年度から、高梁市、玉野市もかなり進めています。この前も新聞に出ていましたけど、玉野市も計画を発表しましたが、それぞれの地域で反対意見が相当出ているようです。今、秦小が75人、神在小が69人、西小が127人、新本小が69人、西部はそういう状況です。池田小は29人ですから、旧維新小と池田小が同じくらい。神在小とか新本小とかもかなり人口が減っている状況ではあります。今のところ複式学級で授業をしているのは池田小だけです。ですが、近い将来、新本小とか神在小も、そうになっていく可能性は多分にあります。打てる手というのはだいたいすべて打ってきたかなという感じがするのですが、ただそれがまだ効果として十分に数字に表れていないから、いかに数字につなげていくかというところが大事なのかなとは思っています。

◆**三上委員** 池田小は体育と英語特区になっているのですが、学区外から来ているお子さんというのは、どのくらいの人数がいるのでしょうか。

◆**久山教育長** 去年は7人だったのですが、今年は何人か分かりますか。

◆**村山学校教育課長** 池田小の学区外ですが、5月1日現在で29人中10人です。1年生が3名。

◆**三上委員** 送迎をされないとおそこは交通の便が悪いので、送迎が可能なご家庭のお子さんが来られているということですね。

◆**久山教育長** はい、そういうことです。

◆**三上委員** それは体育特区ということで、英語は義務教育学校の方が交通の便もいいし、英語特区で比べれば義務教育学校だと思うのですが、体育ということでこの人数は。

◆**久山教育長** そういう理由もあるし、体育という子もいますけど、そういう規模として教育を受けさせたいという方が多い。去年も預かり保育とか、小規模特認校、教育特区、これに関しては、広報紙でかなりのスペースを使って、PRをしてきたわけですが、最近の若い人はあまり広報紙を見ない人が多いのではないかとということで、SNSを使った発信、説明が有効なのかなと話をしているところです。SNSの場合、今在学中の子どもの保護者はすぐーというSNSで情報を発信できる。ところが、未就学の人が入っていないですから、そこへのPRがなかなか難しいと思っています。検診とか、集団検診の時にチラシを置かせてもらうとかも考えています。

◆**三宅委員** 1歳児はなかなか保育園に入れませんか。

◆**久山教育長** 1歳児、2歳児がね。1歳児の待機児童が一番多いのです。次が2歳児。幼稚園は3歳からですから、3歳以上の子が幼稚園をどんどん選んでくれば、保育園も少し余裕ができるかなと思うのですがね。

◆**三宅委員** 前回の2歳児でも3歳になったら幼稚園に入れるという話はどうなったので

すか。

◆久山教育長 今回の段階では、ちょっと難しいだろうと思っています。そのことを1つと、幼稚園で、中心部の幼稚園はかなりいっぱい状態、少し離れた三須・服部・北幼などの比較的園児数の少ない園で、部屋が空いていたらそこで民間の小規模園とかと連携して、民間の保育所に場所を提供する。小規模園にしてもらう。そうすると兄弟関係とかで、3歳になったら幼稚園、そういうようなルートもできるかなということも考えられるのですが、ネックとしては、幼稚園も今の園児数をずっと維持すればできるけど、増えたり減ったりして、部屋を使ったり使わなかったりということになると難しい。完全に無理だとは思っていませんが、見切り発車で来年度すぐというのはちょっと乱暴かなと思っています。かなり待機児童の数は危機的な状況なのだけど、ここで何か新しいことをやるのはちょっと乱暴なのではないかなと思っています。去年新しく作った制度もあるし、そこにまずは力を入れるべきかなと判断しています。それから、池田小学校の学区外ですが、増えています。半分までいかないか、3分の1。これは1つには、今年から放課後児童クラブができたからということもあると思います。学校の仕組みだけではなくて、放課後児童クラブができることによって預けやすくなった、行きやすくなった。

◆三上委員 効果が少し出ているということですかね。池田小においては特区プラス学童保育というのがひとつの方策だと思います。放課後児童クラブの効果があったのでしょうかね。

◆久山教育長 それはあるだろうと思います。10人、二桁になったことは今までないのではないかな。これまで、5人くらいで、多い時は7人くらいだったと思います。この待機児童の問題と、児童生徒数の偏りの問題は、永遠のテーマというか、すぐに解決しないし、しばらくはこの2つは大きな課題となると思います。

◆児島委員 今は学校の組織の話ですが、この間、市長がフェイスブックで山梨県の姉妹都市が何かを結んでいるところがありますよね。

◆久山教育長 長野県茅野市。

◆児島委員 何で行かれたのかはわかりませんが、たぶん文化財や、縄文・弥生の遺跡もたくさん出るところだと思うのですが、昔僕がまだロータリーへ入って間なしの頃だったと思うのですが、姉妹都市縁組を結んでいる教育委員会と、我々のロータリークラブが手を差し伸べて、学校の先生方に、中学か高校かはっきり覚えていませんが、教員の交流会を毎年交互にして、そのお金をロータリーが出して、何日間か交流をしているような状況があって、非常に先生方から喜ばれていました。今は止めているのですが、先生方に対する教育委員会としての、手を差し伸べる勉強会を提案するとかも含めて、考えていった方がいいのかなと思います。

◆久山教育長 教員の交流だとか、海外の日本人学校だとか、外へ出向いて学ぶ機会はあるのですが、県の中でもやっぱり縮小されている傾向はあります。日本人学校は希望者が減っている。中国で問題が起きたりすると、余計に心配になって、外へ目を向けると、児島委

員が言ってくださったように、交流というのは結局、外へ目を向けて視野を広げるということとで、いろんなチャンスがまだまだあると思うので、そういうところをしっかりとこちらとしても知らせていくことは必要です。

◆**児島委員** 以前、義務教育学校を視察に行ったじゃないですか。総社市がやっている昭和五つ星学園がうまくいき始めてくると、必ず見学に来るところも出てきますよね。

◆**久山教育長** 今も多いです。

◆**児島委員** そうなると今度は、一生懸命やっている先生方も、たぶん他所がどういうふうに行っているかというのは知りたくなってきますよね。そういうのは、今いらっしゃる先生方も他所の学校を見ることも大切なのかなという気がしますけどね。他所を見れば、気持ち的に余裕が持てると思いますね。

◆**久山教育長** 昭和五つ星への視察状況は何市ぐらいですか。

◆**村山学校教育課長** 10月と11月に2つ、確か行政視察がありました。

◆**久山教育長** それでは全体を通じて、ご意見とかご質問とか、何かありましたらお願いします。よろしいでしょうか。事務局の方からこのほかで報告事項はありませんか。今日は大きな課題を再度確認、何回も確認していますけど、いろいろ方策を考えていることをお聞きいただいて、ご意見いただいたということです。

それでは、次回の教育委員会の日程ですが、11月25日（月）午後2時から、総合福祉センター2階 教養研修室で開催いたします。

次に、12月の教育委員会の日程を調整したいと思いますので、事務局から提案願います。

12月の教育委員会について日程調整

◆**久山教育長** それでは、12月の教育委員会は、12月23日（月）午後2時から総合福祉センター2階 教養研修室で開催いたします。

これで審議がすべて終了いたしましたので、本日の教育委員会を閉会いたします。

【閉会 午後3時00分】